

会議名	第3回千郷地域協議会		公開 (一部非公開)
日時	令和元年6月23日(日) 午後0時45分～午後4時45分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 小林光治、今泉義徳、萩平博之、奥平俊、長瀬三平、鳥居重幸 小林保洋、中尾文彦、中野克俊、渡邊力夫、伊藤五十人、藤田光利 小山嘉之、鶴井良久、荏原徹、近藤武、渡邊万奈未、平井幸枝 辻小百合、近藤雅英、浅賀詳隆、玉井悦子、山本松宏		
	(事務局) 企画部：三浦部長 企画部自治振興課：加藤課長、川合主任、白頭主事、森下主事 千郷自治振興事務所：鈴木所長、宮本主査		
欠席者	(委員) 山本忠史、浅井泰博、藤原義秋 岡山薫	傍聴者	4名
配布資料	次第、会場レイアウト、千郷地域自治区地域活動交付金審査基準、 審査除外者一覧表、令和元年度千郷地域活動交付金公開審査資料		

議題・議事・発言等 (要点記録)

<p>1 開会</p> <p>会長(荏原徹氏)より開会にあたり、本日の出席者数が定数に達している旨の説明と、これに伴い本協議会が成立することの報告を行った。</p> <p>会長あいさつ</p> <p>会長が挨拶を行った後、次第に従い2事務局説明に入る。</p> <p>議事録署名者選出</p> <p>議事に先立ち、会議録署名委員を会長より指名。</p> <p>今回は「小林保洋」委員、「中尾文彦」委員の2名を指名しお願いすることとなった。</p> <p>2 事務局説明</p> <p>事務局より、地域活動交付金の審査方法及び注意事項について説明を行った。</p> <p>(1)説明5分、質問7分、採点3分。なお事前に通知した質問事項についての回答は説明時に加味して行う。</p> <p>(2)説明時にタイマーを事務局より申請団体に対しお渡しし、1分前になったら事務局よりボードにてお知らせする。</p> <p>(3)採点票記入欄には活動に対する応援メッセージや疑問に感じた理由を記入する。</p> <p>3 公開審査(プレゼンテーション)</p> <p>審査①</p> <p>団体名：花・笑顔・ふれあう会 (※プレゼンテーション省略)</p> <p>事業名：花による景観づくり事業</p> <p>【質問事項：(事前質問回答)】</p> <p>Q1. コスモス祭りとは具体的にどのようなことをしますか？</p>
--

A 1. コスモス祭りといっても特別何か催し物をするというわけではなく、コスモスの種を蒔いて花が咲き地域の皆さんが気軽に楽しめる場所の提供をする事業自体をコスモス祭りと呼んでいる。

Q 2. 参加人数の想定根拠はどのように考えましたか？

A 2. 具体的な人数のカウントはしていないが中こども園の先生や園児の散歩だけでも30名～40名は天気の良い日などは来ているのを見ている。

Q 3. 来年の計画記載がないですが、来年度以降の活動はどのようにお考えですか？

A 3. 次年度の計画はあえて本申請には記載していないが、老人クラブ中心の活動であり、とりあえず本年度の活動を頑張るとしており、毎年度の事業の積み重ねとして本年度で3年目の継続事業となっている。今回事業採択が認められれば次年度も老人クラブ以外での地域で賛同していただける方を募り活動実施に向けて進めて行きたいと考えている。将来的にはコミュニティー活動の中心として地区全体の活動になれば良いと考えている。

(※審査会での質問事項：なし)

審査②

団体名：千郷東こども園保護者会 (※プレゼンテーション省略)

事業名：子育て交流座談会

【質問事項：(事前質問回答)】

Q 1. 反省点を引き継ぎしているのですが、本年度の活動や次年度に生かしていますか？

A 1. より多くの子育て世代の親御さんに参加をしていただくよう、千郷東地区のみならず千郷地区全域に積極的に情報発信をすることや、新たな試みとして開催チラシをカラーとし、多くの方の目につくような事を考えている。

Q 2. 次年度の計画がないですが、次年度以降も継続して活動を実施されますか？

A 2. 基本的には次年度役員を中心に活動を実施していくため、次年度の計画については未定である。しかし自分も市外から本市に移り住んだ際、まわりに知り合いなども少なく不安を感じていた経験もあることから、自分たちの実施している活動が少しでもそうした方々の助けになればと考え、次年度役員にも事業趣旨を説明し引き継いでいく事を考えている。

(※審査会での質問事項：なし)

審査③

団体名：千郷生きがい倶楽部

事業名：高齢者のふれあいの場所の提供、健康増進、住民同士の交流事業

【質問事項：(事前質問回答)】

Q 1. ちさと地区住民に対し、どのような貢献があるとお考えですか？具体的にお考えをご説明ください。

A 1. 千郷地域に存在する老人クラブ等では、片山地区の白寿会と同様な課題があると考えられ、片山地区のみならず千郷全域の高齢者のお出かけ促進やこのことに伴う健康増進、また千郷地域住民の行政区を超えた交流がなされ地域の活性化が図られると考えている。

【審査会の場合での質問事項：(委員)】

Q 1. 片山地区だけではなく千郷地区全体で考えて事業展開したほうがより効果的であるという説明がありましたが、そのあたりをもう少しご説明ください。

A 1. 千郷地区全体としての住民交流型事業は現在西部地区住民運動会のみしかないため、特に高齢者を対象とした地区全体での催しが無いと考え、今回事業化を検討した。こうすることによって先ほどから説明しているように小さな行政区単位ではなく、地域全体での交流が活発化され地域全体の活性化に繋がるものと考えている。また、今後の展望についても地域全体で行う夏祭り行事なども構想している。

Q 2. 今回の事業計画では定員 25 名と定めがありますが、今後参加募集が多かった場合は中型バスではなく、大型バスにて定員を増やすなど検討はされますか？

A 2. 今回申請をするにあたり 3 社のバス会社に問い合わせをしたが、すべて本事業開催予定日は確保が出来ずやむを得ず中型 25 名となってしまった。今後はもう少し定員を増やし事業実施を検討したいと考えている。

審査④

団体名：白子公民館

事業名：公民館活動器具整備事業

【質問事項：(事前質問回答)】

Q 1. 必要最小限とは何がありますか？(現状の公民館にある最小限の器具とは具体的にどのようなものがあるのかご説明ください。)

A 1. 簡易なナベやフライパン、またガスコンロ、少しばかりの食器類などはあるものの、料理教室として活用するには不足しているという理由から最小限という表現をしている。

【審査会の場合での質問事項：(委員)】

Q 1. 公民館に係る備品整備という申請であるが、他の様々な事業もある中で地域活動交付金事業を活用しようと決めた理由を教えてください。

A 1. 本制度のことは以前より承知していたが、公民館としてより地区として課題解決に向けた取り組みを優先してきた。今回公民館として課題解決を検討した際、回覧等により申請受付がされていることを知り、本制度の実施内容の中に拠点施設での備品整備が可能であることの記述がされていたため、地区での相談のうえ今回申請することとなった。

Q 2. 今回の申請内容ではないが、次年度以降計画に拡声器整備と記載があります。この件についてどのような計画であるかご説明をお願いします。

A 2. 現在地元の方より寄附されたものを使用しているものを使用しているが小さく音量などにも制限があり過去より課題となっていた。屋内外の地区で開催する各種公民館活動や催し物で活用することを考えて次年度以降計画を考えているため記載している。

Q 3. 公民館の備品のみを交付金で揃えるだけであると感じたが、本制度で申請を行うにあたりそのあたりは地区として議論があったか。

A 3. 本制度の募集回覧等において、団体の活動に対する備品整備についても交付金の交付要件として該当しているのであろうとの考えから今回地区でも適切であると考え申請した。

審査⑤

団体名：豊島区自治会

事業名：豊島区に公園を

【質問事項：(事前質問回答)】

Q1. 事業目的が昨年度と本年度でニュアンスが違うがなぜでしょうか？

A1. 交流の場を提供するという目的については変わりありません。

Q2. 具体的な完成した姿が見えませんが、最終的にはどのような公園を想定していますか？

A2. あまり遊具やベンチなど設置すると今後の管理等も大変になるうかと考え、現状の計画は空き地として人が集える場所、また子どもがのびのびと遊べる広場というイメージである。しかし、今後活用していく中で必要があれば検討していく方針である。

【審査会の場合の質問事項：(委員)】

Q1. 3年目の継続事業であるが、当初3年間で概ね完成をするという事であったと思うが、本年度完成に至る予定でしょうか。またこのことに伴い次年度の計画はどのように考えているか。さらに、本年度概ね完成ということであれば地域の方への周知や活用方法などはどのようにお考えでしょうか。

A1. 昨年度はすべて半日で作業を行っていたが、機械リースについては半日借りても全日借りてもリース料に変更はないとのことであったため、昨年度終わりから全日作業として実施している。このことから作業効率も上がり本年度は公園の中に人が入れる状態として概ね完成出来ることを予定している。また、事業完了の2月の終わりには、豊島地区区長を通じ広く地域住民に広報し活用の推進を図っていくほか、せっかくの公園であるので、現在本事業に参加していただいている方を中心にイベントなどを企画し交流の場として積極的に活用を考えている。

次年度の計画については今のところ実施することを予定していないが、今後の活用に支障があれば再度地区で協議検討を行い整備を進めるものは進めていくことを考えている。

審査⑥

団体名：ちさと剣道愛好会

事業名：ちさと剣道普及事業

【質問事項：(事前質問回答)】

Q1. 「20名」の根拠はどのようにお考えですか？

A1. 現在の中学校部員数が16名であり、そこに今回新たに興味を持って体験を望んでいる生徒などを含め20名程度を設定した。

Q2. 中学校の部活動の支援とありますが、中学生の防具は学校にもある程度整備されており、そうしたものをあわせて使用するのでしょうか？具体的な活動内容を教えてください。

A2. ご質問のとおり、ある程度個人のものとしてはありますので、当然そうしたものもあわせて活用して行くことを考えています。

Q3. 別紙4に協力団体として千郷中学校の記載ありませんが活動に対しての協力や連携が図られるのでしょうか？

A3. 本申請をするにあたり、中学校及び顧問の先生などとは打合せ調整済みであり、連携や協力体制については同意を得ています。

【審査会での質問事項：(委員)】

Q1. 防具5セット購入とのことであるが、現在新たに興味を持っている生徒などはすでにどの程度人数が居るか把握していますか？

A1. 今のところ把握していません。

Q2. 防具購入は体験者が実際申し込みなどがあってからでも遅くないのでは？先に防具購入をしたが実際にはニーズが無かったという事態にならないとも限らないが、そのあたりはどのようにお考えか？

A2. ご指摘はもっともであります。本団体の考えとしては先にそうした受入れできる環境を整え地域に周知し少しでも興味のある生徒などを募ることを考えPRをしていきたいと考えています。購入した防具が無駄にならないよう中学校とも連携し積極的に広く周知を図っていく事を考えている。

Q3. 部活動の支援とのことであるが、事業実施場所は具体的にどこで実施しますか？部活動とは別の場所で行うという意味でしょうか？

A3. 中学校の部活動開催場所にてあわせて実施します。

Q4. 収支計画には剣道の防具購入についての費用計上はあるものの、維持管理等の手入れに関する費用などは記載がないがどのようにお考えであるか？

A4. 購入した防具の保管場所について現在調整中であるが中学校の部室に余剰スペースがあればそこにと考えています。手入れについても丁寧に乾かすなどこまめに行い、湿気等に伴うカビなど発生しないよう心がけを考えている。仮にそうした事態が生じた場合は今のところ本団体として解決することを考えている。

Q5. この事業は次年度も申請し継続で行いますか？継続であればそうした経費も今後検討してみてもどうか。

A5. 継続事業として考えている。ご意見を参考にさせていただく。

Q6. 活動について剣道の技術向上の要素があまりにも強く感じ、初心者についてはハードルが高いのではないか。出来ればレクリエーション的な要素を取り入れ気軽さも必要と考えるが、そのような事は考えているか。

A6. 今のところ考えていないが、子どもの様子や状況にあわせそうした気軽に足を運んでもらえるような仕組みは今後検討したいと考えている。

審査⑦

団体名：石田神楽保存会

事業名：石田神楽の伝承と地域交流促進事業

【質問事項：(事前質問回答)】

Q1. 令和2年で終了になっていますが、今回整備をする用具のみで、足りえますか？(全戸、門付けには5～6セット必要なのではないのでしょうか？)そのあたりの詳しい説明をよろしくお願いします。

A1. アパート世帯数が100世帯以上あり、近年では門付けを断る世帯も増えてきており経験上ではありますが1セット購入すれば目的を概ね達成できる適当数と考えている。

【審査会での質問事項：(委員)】

Q1. 門付けは年1回しか実施されないものですか？

A1. 年間スケジュール記載のとおり、門付けは年1回のみですが月1回保存会で定例会があり集まり稽古をしている。

Q2. 門付けが60世帯程度にとどまっているというのは、世帯数が多く1つの獅子頭しかないためすべての世帯をまわれないという事で、2つあれば2組に分かれて100世帯実施できるという意味でよいのか？

A2. そのとおりです。

Q3. 区のお祭り行事の一環として門付けとはあるのか。

A4. 祭礼とは別に、保存会としてお祭りを盛り上げるための余興という位置づけで実施している。

Q5. 門付けの際、祝儀のようなものはいただくのか？

A5. 実際は貰ったり貰わなかったり様々です。

Q6. 門付けをまわる世帯は申し込みをされた世帯に限っているか？

A6. 年始めに申込書を提出していただきそうした世帯を優先的にまわっている。今後申請が採択されればそうした申込み世帯のすべてをまわれ地域の文化継承につなげていく考えである。

Q7. 本制度は営利目的である事業は好ましくないとされている。門付けをされる際、区民より祝儀などをいただくことも当然あると思われ、単純に門付け数が増えれば祝儀の額も多くなると考えられます。祝儀無しとまでは言わないが、そのあたりは貴団体としてどのようにお考えでしょうか？

A7. 門付けをする際、祝儀も当然いただけることもあるがその代わりとして門付けとあわせて記念品を差し上げそうしたものに充てている。このため、本団体としては営利とは考えていないことから本申請をさせていただいた。

Q8. 女性の加入促進や参加も考えていますか？

A8. 女性限定としての呼び掛けを特別にしていることはないが、本事業をきっかけに、積極的に地域の文化を今まで以上に広く周知少しでも多くの区民が参加して頂けるよう取組む考えであり、もちろんその中には女性も含んで考えている。

審査⑧

団体名：川田ふれ愛隊

事業名：花と蝶の里山づくり事業

【質問事項：(事前質問回答)】

Q1. 「別紙2の次年度以降活動予定」に令和2年度の概算予定事業費100千円とありますが、具体的な用途はどのようなものですか？詳しくお聞かせ下さい。

A1. 花が終わったら何もないとさみしいと考え通年で子ども達が集えるような環境を整えことを考え、「ブルーベリー」や「オリーブ」などを植えることを考えている。

Q2. 農地の地権者の同意はどのようになっていますか？

A2. 構成員の中に地権者が入っており、当然同意は得ている。具体的には「藤野章一」氏及び「山田文教」氏が地権者である。

【審査会の場合での質問事項：(委員)】

Q1. 「ふじばかま」をどのように当地域に植えていくのか具体的にお聞かせください。

A1. 近所の方の畑や庭にが野生の「ふじばかま」があり、さし木をすれば良いと聞いたので、現在その「ふじばかま」を構成員の自宅に持ち帰り実施している。それを事業採択されれば畑にそのさし木したものを植え替え

ようと思っている。

《途中休憩》2：45まで（10分）

審査⑨

団体名：新城市消防団千郷分団

事業名：消防水利のマップ化及び消防団員加入促進事業

【質問事項：（事前質問回答）】

Q1. 既設の消防水利マップの水利の位置が分かりにくいとは、具体的にどのようなわかりにくいのでしょうか？

A1. 本日実際のマップを持参した。平成12年7月改訂のものを使用しており、さらにこれに加除していくような形で使用していることから見にくくなっている。また、千郷地域一円の図面ではなく、各班の区域別に図面が分かれてしまっていることから千郷全域をカバーしたのものとして新たに作成を考えている。

Q2. チラシのデザイン（案）はもう出来上がってますか？

A2. 現在は素案も出来ていない。市の操法大会で優勝し県大会出場が決まり現在訓練実施中であるためこれが落ち着いたら着手しようと考えている。多くの地域の方に見て頂けるようなデザインを心がけて作成する。

Q3. チラシ以外に、団員確保についての募集方法など考えていますか？具体的にご説明ください。

A3. 地区の活動や各種催しに消防団として積極的に参加し、消防団の存在や活動を認知していただき、今までも実施していたがそうした活動の中で地道に加入促進を図っていくことを考えている。

【審査会での質問事項：（委員）】

Q1. 水利マップをA1サイズで作成とのことであるが取扱がしにくく壁に貼り付けすることしか出来ないように感じるが、使用方法としてはどのように考えているか。

A1. 消防団の詰所や各地域の公民館などに掲示していただき有事の際には消防団のみならず地域の方にも協力をいただくこともあることから掲示することを考えている。また、現場にも当然持参し本部などにて活用するため、各消防車両にも常に配備しスムーズに取り出せるように折りたんで活用し、場合によっては縮小版も検討したいと考えている。

Q2. 計画ではマップの印刷発注が3月の予定となっているため、本年度中の活用を目指すこととなればもう少し早くすることが良いと思えるがそのあたりはどうか。また、市に対しての実績報告も事務手続きではあるが行わなければならないためなるべく早く事業完了を目指していただきたいと思うが。

A2. 申請をする際に活動スケジュールとして検討したが、もちろん年末まで作成をあえて待つことは考えていない。なるべく前倒しで出来ることはやっていくつもりであるが、現段階では消防団の各種活動と照らし合わせると年度末の3月までには確実に作成するという意味で工程案を考えましたが、早めに作成をするつもりで事業に取り組む考えです。また、これに伴い市への事業実績報告についても遅延すること無く速やかに行うことは当然考えています。

審査⑩

団体名：千郷西こども園保護者会

事業名：子育て交流座談会

【質問事項：(事前質問回答)】

Q1. 「未就園児とその保護者」とは、どの地区の方々を対象としていますか？

A1. どの地区の方々が参加されても結構であると考えているが、主は千郷地区全域で在住されている方を考えている。

Q2. 「周知方法」は具体的にどのようにしますか？

A2. 千郷地区の約300世帯に対し区長への協力を求め回覧をお願いすることと、市や公民館など公共施設等への掲示依頼・協力とSNSなどでの情報発信により広く周知をすることを考えている。

(※審査会の場合での質問事項：なし)

審査⑪

団体名：中市場区自治会

事業名：公園整備事業

【質問事項：(事前質問回答)】

Q1. 今回、地域活動交付金事業の申請に至った経緯を詳しく教えてください。

A1. 今までに地区で公園に関する様々な整備や手入れを毎年のように実施してきており、本年度は整備に関してはお金をかけない方針としていた。そうしたところ課題解決に向けた取組みを金銭的サポートをいただける本制度の事を知り今回申請することとなった。

(※審査会の場合での質問事項：なし)

審査⑫

団体名：徳定区自治会 (※プレゼンテーション省略)

事業名：徳定川沿い赤道舗装

【質問事項：(事前質問回答)】

Q1. 申請対象の道の利用頻度はどの程度でしょうか？

A1. 毎日見ている訳で無いため、具体的な数字はわからないが、朝など散歩を数人の方がしていることやバイクなど地域の方は良く利用している。また、現在は未舗装であるため走行性が悪いことから頻度もそれなりとなっているが、これが舗装が完成すれば利用者や頻度も大きく変わると考えている。

Q2. 今後の事業予定をこれまでの実績も踏まえて具体的にご説明をお願いします。

A2. 昨年度実施し当初3年計画であったが本年度は計画を見直し早期に効果を得るため本年度完成の見込みである。

【審査会の場合での質問事項：(委員)】

Q1. 過去舗装した区間の現在の状況と出来映えなど教えて頂きたい。

A1. やはり地区の有志で作業したため、業者が施工するようにはいかないが、その点はアスファルト舗装部分を委託している業者がある程度手直しをしてくれたおかげで今のところ激しい損傷などなく良好である。また、出来映えについても一部専門的な部分については業者に委託しているため綺麗に出来ていると感じる。

- Q2. 本年度も業者が手直しを行って頂けるのか？
 A1. 予想ですが本年度もある程度行っていただけると考えている。
 Q3. 赤道とあるが、市道ではないのですか？
 A3. 市道認定されていない道路です。
 Q4. 道路幅がすごく広いですがどのような道か？
 A4. 昔の土地改良事業で行った耕地整理で作られた道です。
 Q5. 舗装構成を教えてください。
 A5. 表層は 5cm です。路盤は 25cm です。幅員は 2.5m です。
 Q6. かなり事業費が安価と感じますが。
 A6. 市土木課により原材料支給をしていただき経費を抑えています。

審査⑬

団体名：新城ハッスル55号

事業名：新城ちさと発レトロ掘探（ホリタン）ミュージアム

【質問事項：（事前質問回答）】

- Q1. 会場設営はどのように行いますか？（申請団体のみで行いますか？それともどこかに協力いただき設営しますか？準備から開催、撤去までの具体的な進め方を教えてください。）
 A1. 本団体のみで設営を実施する予定である。
 Q2. お盆時期であり、新城納涼花火大会開催予定日と同日の開催であるため、参加者の人数が集められますか？または、集められない場合ばどのようにお考えですか？
 A2. 確かに開催日と同日ではあるが、花火は夜の開催であり昼間はこちらに来ていただけると考えている。また、花火に来た市外の方がついでに千郷地域に立ち寄り会場に足を運んでいただける状況になればとも考えている。
 Q3. 千郷地域からレトロの作品は、どのくらい出品される（集まる）と想定していますか？
 A3. 現段階でも告知や募集していない中、既に出展希望者があり、ある程度の具体的な数は初めての取組みなのでわからないが、数は多く確保できる見込みである。しかし、開催会場に限りがあるのですべて展示できるわけではない。
 Q4. 今後もこの活動を継続していくお考えでしょうか？（今後のお考えがあれば具体的な展望をお聞かせください。）
 A4. 今回の開催状況を見ながら継続的な取組みとして地域の楽しみな企画・催し物の一つとして根付けば良いと考えている。今後はさらに発展的な取組みを考えて行きたいと思っている。

【審査会の場での質問事項：（委員）】

- Q1. お宝を集めるということですが、そのお宝を展示するために確認や精査する必要があると思います。そのあたりで今どの程度集まっており、確認や精査が実施されていますか？
 A1. まだまだ確認し始めたところであり実際の数字はわからない。確認もまだ現段階ではほとんど終わっていない。
 Q2. 現段階で集まりそうな点数は？
 A2. 概ね小さい物も 1,000 点程度は集まっている。
 Q3. 展示したレトロ品（お宝）をリスト化し、展示会以外でも見ていただ

けるような事は考えられるか？

A3. 出展してくれた物品はリスト化し、今回展示出来なかった物も含めそのリストにより情報提供することは考えている。

Q4. 人によってレトロの物は考え方が様々であり、何をもってレトロ（お宝）と考えているか。

A4. 今回は地域の高齢者が自分達が過ごしてきた生活の中で見てきた物や使用してきた物などを懐かしみ、話に花を咲かせ交流していただくという意味で、そうしたものをすべてをレトロ（お宝）と考えている。

審査⑭

団体名：千郷ミニバスケットボールクラブ

事業名：地域コミュニケーション活性化事業

【質問事項：（事前質問回答）】

Q1. 参加者の今後のバスケットボールの取り組みにつながっていますか？
（個人として）

A1. 昨年度事業実施の効果もあり20名程度の新規加入者があり、新城市の各クラブチームが縮小する中、本クラブは勢いが増し盛り上がりが出ていると感じる。

Q2. 中高生とのかかわりは？（フェニックス招待の交流）

A2. 千郷中学校バスケットボール部出身の高校生の親に協力いただき高校生への呼び掛けや、市内高等学校へのチラシ配布やポスター掲示による募集を行い参加を促すことを考えている。

（※審査会での質問事項：なし）

4 公開審査終了

5 非公開の審議（審査のまとめ）

■事務局進行により、集計結果報告を行った。

※申請団体毎に、審査票に「審査しない」とチェックした委員は離席。

申請毎に意見・コメントを読み上げ、以下の内容について協議。

○無条件採択

○意見を付して採択（努力義務）

○条件付き採択

○一部不採択（補助対象経費の一部減額措置等）

■決定事項

申請事業毎に協議を行い、審査結果についてすべて承認された。

また、事前に委員に対しお渡ししていた申請団体審査資料については個人情報保護のため事務局により回収し、代わりとして傍聴者等へ配布した資料と同様な書類を配布。

6 閉会

《事務連絡》

（1）次回の地域協議会開催日程等について

第4回千郷地域協議会

日時：令和元年7月17日（水）19：00

内容：地域自治区予算事業の検討について開催予定。